

山形大学人文社会科学部 編入学ガイド

(令和7年度入試版)

—人文社会科学部への編入学をめざす皆さんへ—

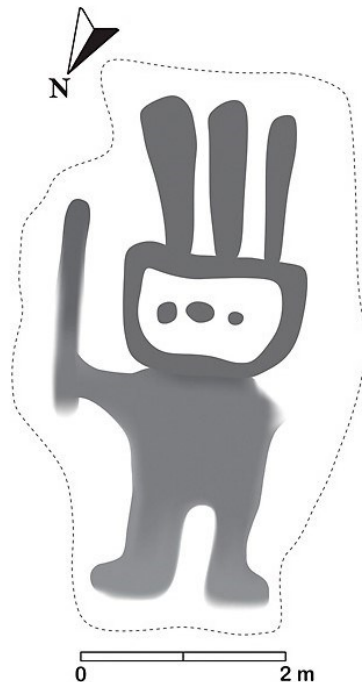
編入学とは？

他大学や短期大学(高等専門学校)を卒業し、さらに勉強を続けたいという意欲を持っている方、また他大学の2年次以上に在学中の方を対象として、私たちは「山形大学人文社会科学部第3年次編入学」という制度を設けています。

専門をさらに深めて勉強したい人たち、あるいは、これまで学んできた専門とはまったく異なる学問に挑戦してみたい人たちを私たちは歓迎します。



山形大学 人文社会科学部
Yamagata University



山形大学人文社会科学部 編入学ガイド

ー人文社会科学部への編入学をめざす皆さんへー

第1章 人文社会科学部での学び	1～7頁
・各コースの特色など	
・カリキュラムマップ	
第2章 卒業生の進路	8頁
(1) 編入学生の進路と就職実績	
(2) 編入学生の主な就職先・進学先	
第3章 「単位」と「読み替え」について	9～11頁
第4章 編入学生からのメッセージ	12～14頁



【写真】表紙：世界初、人工知能で発見されたナスカの地上絵
目次下：地上絵が描かれているナスカ台地



第1章 人文社会科学部での学び



人文社会科学部の各コースの特色などは以下のとおりです。

(1) 人間文化コース

特 色：人類学，歴史，言語，文学，映像，哲学，認知心理学など，人間とその文化的活動に関する体系的な専門知識を身に付ける。

教 育 目 標：人間とその文化的活動に関する体系的な専門知識と教養を身に付けた人材，またそれを基礎として身近な文化資源を発見，理解し，的確に表現，発信できる高度な言語能力と実践力を身に付けた人材の育成を目標とする。

学べる領域：① 文化人類学プログラム・・・文化人類学，環境動態論，アンデス文明論
② 歴史学プログラム・・・・・・・・日本史，アジア史，ヨーロッパ史，考古学
③ 認知情報科学プログラム・・・認知科学，情報科学
④ 日本学プログラム・・・・・・・・日本文学，日本語学，日本語教育学，比較文学
⑤ 文化解釈学プログラム・・・芸術文化，表象文化，哲学

(2) グローバル・スタディーズコース

特 色：英語等の外国語の高い運用能力を基本に，国際社会に関する人文科学・社会科学の専門知識を学ぶ。

教 育 目 標：人文社会科学の分野横断的な専門知識，外国語の高度な運用力，そしてグローバル化に適応できる柔軟な思考力と見識を身に付け，多文化間の相互理解に貢献することができる人材の育成を目標とする。

学べる領域：「国際地域研究」と「多文化研究」の2つの専門教育プログラムによって，国際社会・文化に関する人文・社会科学の知識を総合的に学ぶ。



言語学演習の様子



東南アジア地域論演習・国際協力論演習の一場面

(3) 総合法律コース

特 色：法律学の基礎知識と幅広い法的思考の術を学び、地域社会の課題を法的な視点をいかして解決する力を身に付ける。

教育目標：法律学の基礎的知識を修得したうえで、学際的及び実践的視点を養う教育課程の履修を通じて幅広く応用可能な法的思考能力を身に付けることにより、法律学の視座から地域社会の課題解決に取り組むことのできる人材の育成を目標とする。

学べる領域：公法分野（憲法など）、刑事法分野（刑法など）、民事法分野（民法など）、基礎法学分野（法哲学など）、国際法分野（国際法など）、社会法分野（労働法など）など。

(4) 地域公共政策コース

特 色：地域社会やコミュニティが抱える様々な問題を把握・分析し、その解決に取り組むための知識と技能を実践的に学ぶ。

教育目標：地域社会やコミュニティが抱える様々な課題を適切に分析する能力を身に付けさせるとともに、コース横断的な履修や地域・自治体と連携した実践科目の履修を通じて公共政策を主体的に担い地方創生に貢献できる人材の育成を目標とする。

学べる領域：政治学、行政学、労働政策、社会学、地理学の視点から、公共政策、地域政策など。

(5) 経済・マネジメントコース

特 色：経済学と経営学を中心に広く社会科学の諸分野を学び、地域で生活し働く人や企業が抱える諸問題を分析し課題解決に取り組む実践的な能力を養う。

教育目標：経済社会で活躍するために不可欠な能力を身に付けさせるとともに、コース横断的な履修や多彩な実践科目の履修を通じて経済社会の課題解決と持続的な地域経済発展に貢献できる人材の育成を目標とする。

学べる領域：経済学および経済学領域の専門科目として、ミクロ経済学、マクロ経済学、統計学、財政学、金融論、社会政策論、経営学、会計学、マーケティングなど。



マーケティング a の講義風景



専門基礎演習の様子

■カリキュラムマップ[人間文化コース]

DP6

DP5

DP1

DP4, DP3

DP2

完成



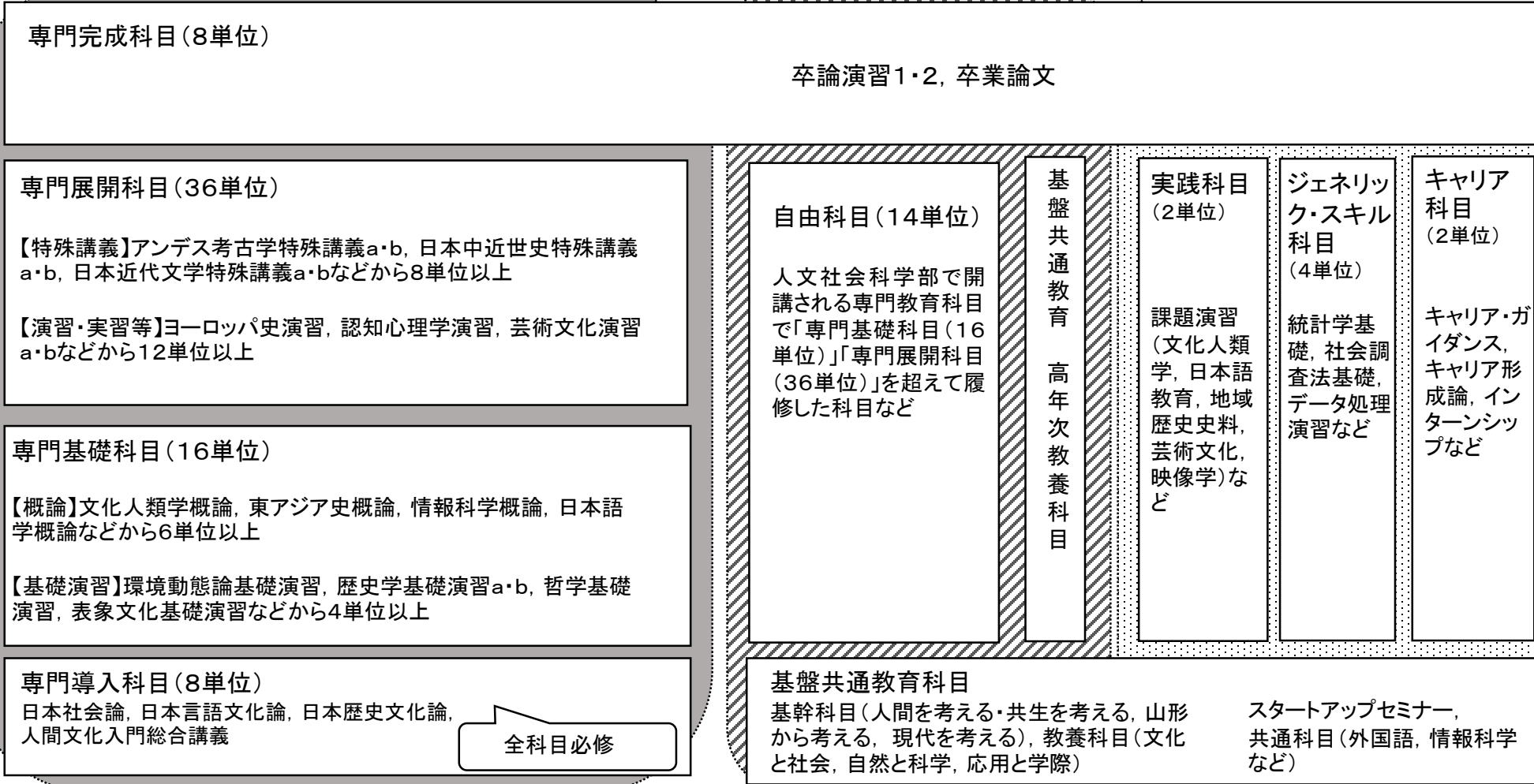
展開



基礎



導入



全科目必修

専門性

CP6

学際性

CP5

CP4, 3, 2, 1

実践性

■カリキュラムマップ[グローバル・スタディーズコース]

DP6

DP4

DP5

DP3 (DP6) (DP4)

DP2

DP1

完成



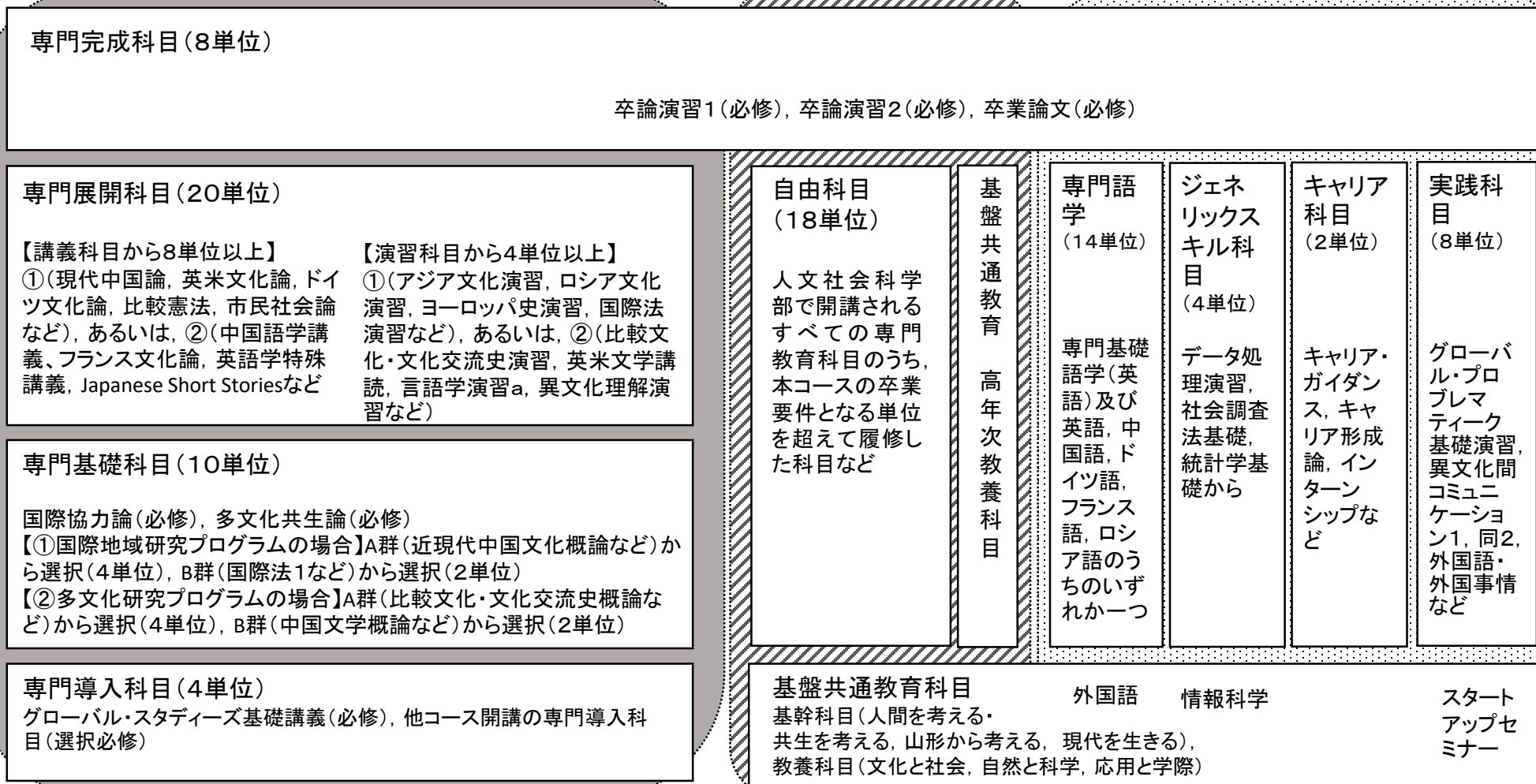
展開



基礎



導入



CP6

CP4

CP5

CP3 (CP6) (CP4)

CP2

CP1

専門性

学際性

実践性

■カリキュラムマップ[総合法律コース]

DP6

DP1

DP5

DP2, DP3, DP4

完成



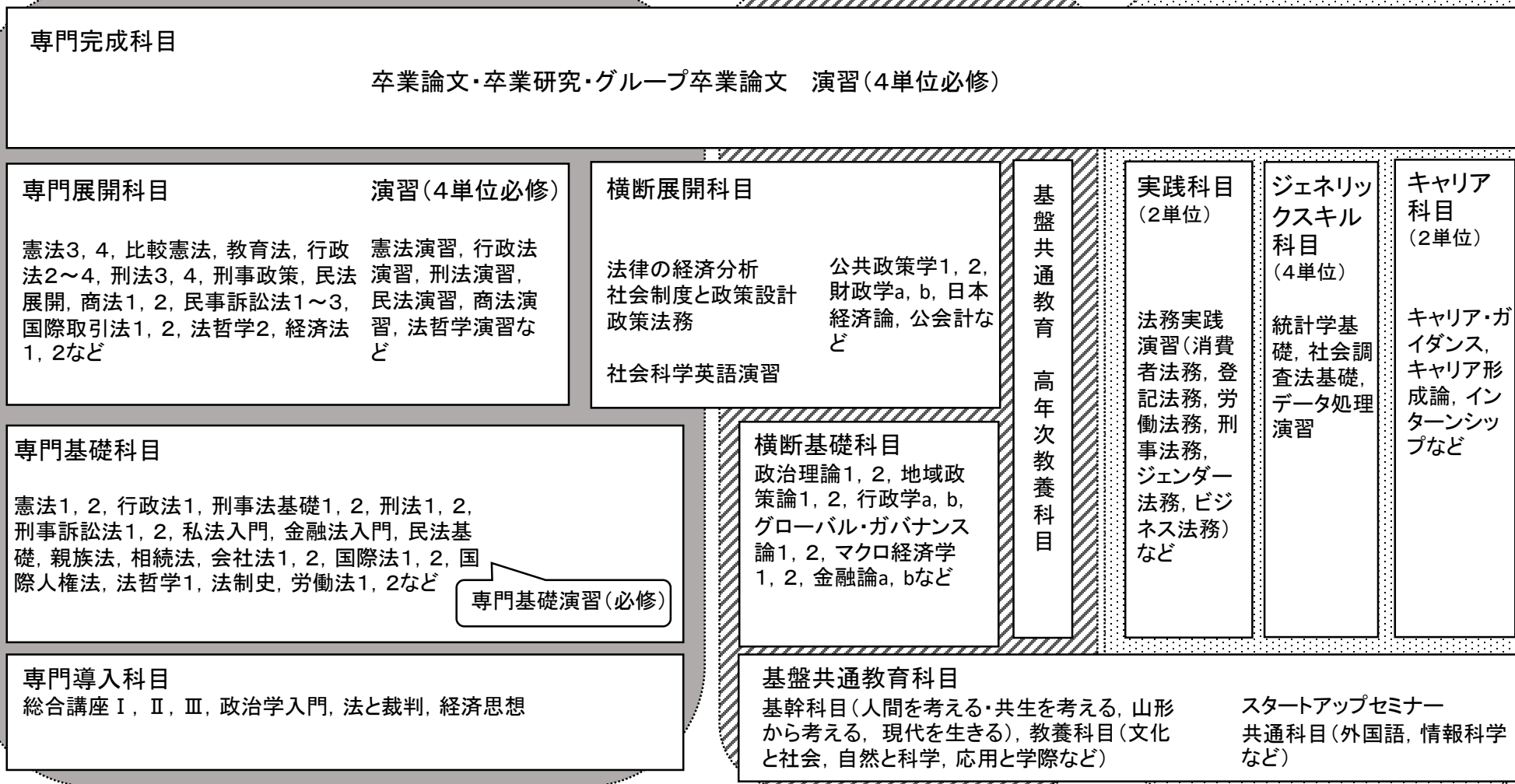
展開



基礎



導入



専門性

CP6

CP5

CP7

学際性

CP1, CP2, CP3, CP4

実践性

■カリキュラムマップ[地域公共政策コース]

DP5

DP6

DP1

DP2, DP3, DP4

完成



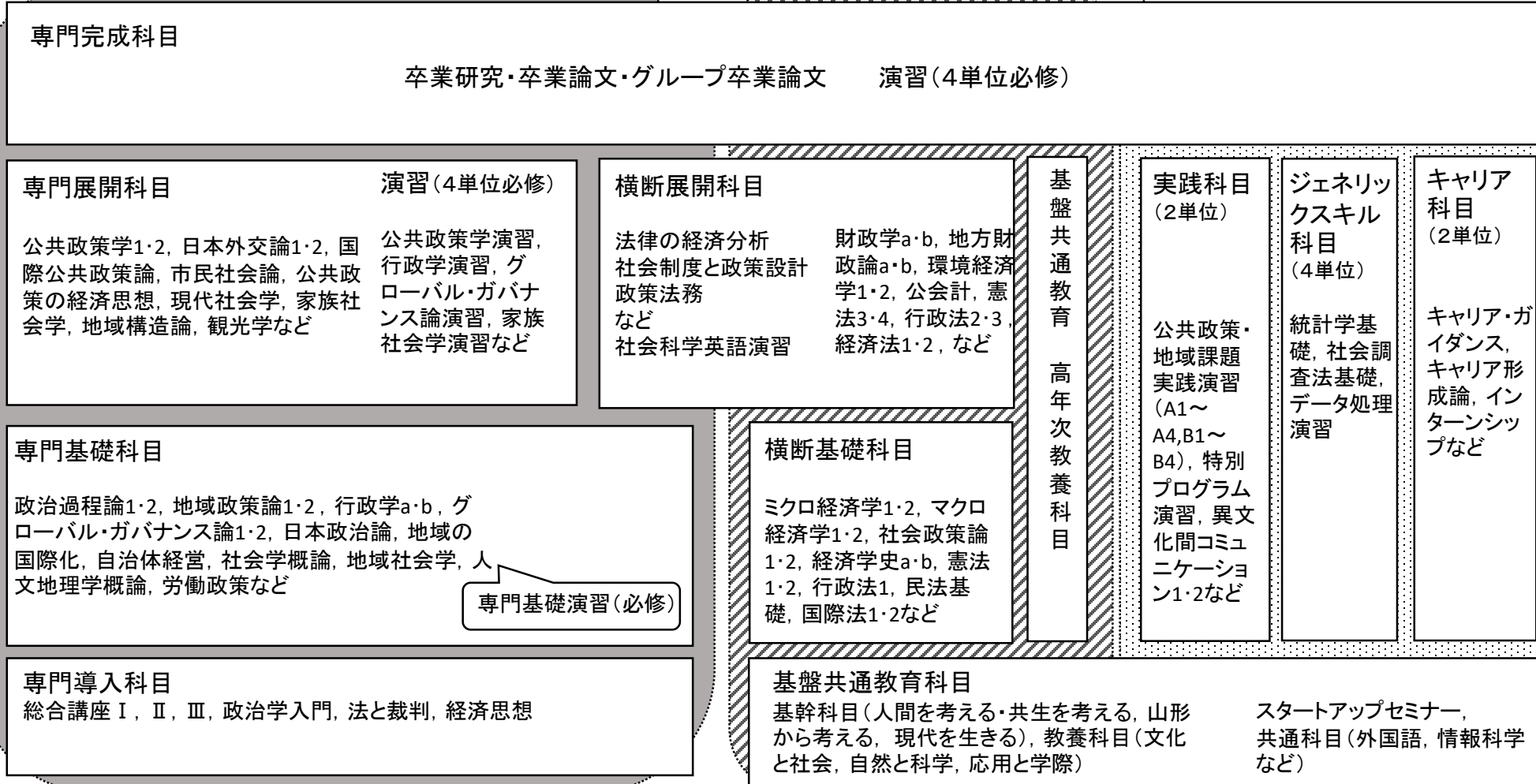
展開



基礎



導入



専門性

CP6

学際性

CP5, 4, 3, 2, 1

実践性

■カリキュラムマップ[経済・マネジメントコース]

DP6

DP1

DP5

DP2, DP3, DP4

完成



展開



基礎



導入

専門完成科目

卒業研究・卒業論文・グループ卒業論文 演習(4単位必修)

専門展開科目

演習(4単位必修)

ゲーム理論1,2, 計量経済学1,2, 財政学a,b, 地方財政論a,b, 国際金融論a,b, 環境経済学1,2, 経営情報a,b, マーケティングa,b, 中小企業論a,b, 管理会計a,bなど

マクロ経済学演習, ミクロ経済学演習, 統計学演習, 財政学演習, 会計学演習, 中小企業論演習など

横断展開科目

法律の経済分析
社会制度と政策設計
など
社会科学英語演習

行政法2, 国際取引法1,2, 経済法1,2, ビジネス与管理入門など

基盤
共通教育

高年次
教養科目

実践科目
(2単位)

企業課題解決型実践演習a,b,c, ビジネス創業実践演習, 特別プログラム演習, 異文化間コミュニケーション1・2など

ジェネリクス
スキル
科目
(4単位)

統計学基礎, 社会調査法基礎, データ処理演習

キャリア
科目
(2単位)

キャリア・ガイダンス, キャリア形成論, インターンシップなど

専門基礎科目

ミクロ経済学1,2, マクロ経済学1,2, 経済原論1,2, 経済学史a,b, 日本経済史1,2, グローバル経済史1,2, 統計学1,2, 経済情報科学1, 経済政策論1,2, 社会政策論1,2, 金融論a,b, 国際経済学a,b, 経営学a,b, 会計学1,2, 経営組織論, 財務会計a, オペレーションズ・リサーチなど 専門基礎演習(必修)

横断基礎科目

憲法1,2, 刑事法基礎1,2, 民法基礎, 会社法1,2, 地域政策論1,2, 政治理論1,2, 行政学a,b, グローバル・ガバナンス論1,2など

基盤共通教育科目

基幹科目(人間を考える・共生を考える, 山形から考える, 現代を生きる), 教養科目(文化と社会, 自然と科学, 応用と学際)

スタートアップセミナー, 共通科目(外国語, 情報科学など)

専門性

CP6

CP5

学際性

CP4, 3, 2, 1

実践性



第2章 卒業生の進路



(1) 編入学生の進路と就職実績（3月卒）

年度	卒業生	就職決定者	進学	その他	就職率
令和5年度	24	21	1	2	100%
令和4年度	19	18	0	1	100%
令和3年度	19	16	2	1	100%
令和2年度	21	18	1	2	100%
令和元年度	18	14	2	2	100%

(2) 編入学生の主な就職先・進学先

建設業、不動産業	秋田住宅流通センター，オープンハウス・アーキテクト，セキスイハイム東北，沼田建設
製造業	樺産業，杉江製陶，デンソーFA山形，日東ベスト，富士通
電気・ガス・熱供給・水道業	東北電力
情報通信業	KDDI，シグマソリューションズ，スマートテクノロジー，中央コンピュータシステム
運輸業、郵便業	テイスコ運輸，北海道旅客鉄道
卸売業、小売業	JR東日本東北総合サービス，いわて生活協同組合，大久保硝子店，コンドーテック，山洋工業，全農チキンフーズ，日産部品山形販売
金融業、保険業	会津信用金庫，青森銀行，甲府信用金庫，荘内銀行，第一生命保険，福島県信用保証協会，北都銀行，ほけんの窓口グループ，明治安田生命保険相互会社，山形銀行
宿泊・飲食業、生活関連サービス業	スーパーホテル，日本旅行東北，ホテル一井，ラグーナテンボス
教育・学習支援業	ステップ，学校法人富澤学園，国立大学法人山形大学，臨海
医療、福祉関係	公益財団法人やまがた健康推進機構
サービス業 (複合サービス含む)	ダイレクトマーケティングミックス，山形農業協同組合
公務員	東北総合通信局，仙台国税局，山形県職員，福島県立博物館，山形県警察本部，仙台市職員，山形市職員，米沢市職員，南陽市職員
教員	山形県教員
大学院	名古屋大学大学院環境学研究科，一橋大学国際・公共政策大学院，北海道大学公共政策大学院，山形大学大学院社会文化創造研究科



第3章 「単位」と「読み替え」について



皆さんは、短大・専門学校等（以下、短大等）で、自分の専門に応じた専門科目を修得していることでしょう。しかし、そのような短大等での専門科目を編入学後に所属する教育コースの専門科目に読み替えてしまったら、本来学ぶべき専門とは異なる分野の科目を多く学ぶことになってしまいます。これでは、本末転倒です。

そのような矛盾を避けるために、短大等での既修得の専門科目については、本学部に入学时には、できるだけ基盤共通教育科目や専門教育科目に読み替えるようにします。

※以下の内容については、変更となる場合があります。

(1) 既修得単位の認定（読み替え）の基本方針

単位の読み替えについては、編入学生の皆さんを1年次からの在學生と可能な限り平等なスタートラインに立たせるという方針のもとで、原則として包括認定方式と個別認定方式の組み合わせによってなされています。基盤共通教育の一部については包括認定とし、それ以外は読み替え可能な単位数の範囲内で、短大等で履修したある特定の科目について、本学で開講されている特定の科目に読み替えます。その際、個々の編入学生によって編入時に必要となる科目が異なりますので、その実情にあわせて、柔軟な読み替えを行っています。

読み替えることができる単位数の上限は**64単位**です。そのうち、基盤共通教育の導入科目〔次頁(4)の①〕、基幹科目〔(4)の②〕、教養科目〔(4)の③（(b)「高年次教養科目」をく。）〕、および共通科目〔(4)の④（「コミュニケーション・スキル2」を除く。）〕については包括的に読み替えます（包括認定）。したがって、人間文化コースは28単位、グローバル・スタディーズコースは32単位、総合法律コース・地域公共政策コース・経済・マネジメントコースは28単位が自動的に認定されます。

短大等で取得した単位が基盤共通教育高年次教養科目とする人文社会科学共通科目群に読み替え可能である場合には、基盤共通教育高年次教養科目として優先的に読み替えます。また、単位の不足になりやすいという理由から、**外国語の読み替えについては、特に優先してなされています。**

残りの単位数は専門教育科目として読み替えます（個別認定）。編入学生の既修得単位の状況や編入後の専門課程の教育内容などの実情を勘案し、編入学生の要望にできるだけ沿う形で柔軟に読み替えるというのが基本方針です。

※教職副専攻プログラム修了を希望する場合は、包括認定方式は適用せず、すべて個別認定方式によって読み替えがなされます。

(2) 人文社会科学部の単位の数え方

大学の各科目の成績については、評価点（点数）とは別に、「単位」という概念があることはご存知のことと思います。この単位の数え方は、大学によって異なります。山形大学人文社会科学部では、以下のような2つの異なる単位区分を持っています。

①講義・演習等の1コマ（90分）の授業は2単位となります。授業は15コマで構成されています。

②社会科学系3コース（総合法律コース、地域公共政策コース及び経済・マネジメントコース。以下、同じ）で開講される演習（ゼミ）については、2コマ（180分）の授業で2単位となります。授業は30コマで構成されています。

(3) 短大等での外国語の単位取得に関して

英語および初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語）は、基盤共通教育においてそれぞれ必修となります。英語は、人間文化および社会科学系3コースが6単位、グローバル・スタディーズコース（以下、GSコース）が10単位です（1コマ90分×15回＝2単位）。教職副専攻プログラム修了を希望する学生はこの単位数で個別認定されますが、それ以外の学生には包括認定方式が適用されます（つまり、これまでの単位取得履歴にかかわらず、基盤共通教育における英語の単位は取得済みと認定されます）。

一方、初修外国語は制度が異なります。まず、すべての学生に個別認定方式が適用されます。また、前期後期ともに週2コマでひとつの授業が構成されます。つまり、1コマ90分×30回＝2単位の授業を前後期にそれぞれ履修し、合計4単位の取得が必須です。もし、短大等で週1回90分×15回で2単位の初修外国語の授業を履修してきた場合、本学の計算では1単位としてか認定されません。すなわち同一言語で4つ授業を履修していないと、本学での必修要件を満たせないことになります。単位数が足りない場合、またそもそも上記4言語の学習履歴がない場合は、編入学後に不足分を履修しなければなりません。

なおGSコースでは、上記とは別に、英語および初修外国語のうちから1言語を専門語学として選択し、卒業までに12単位を取得する必要があります。専門語学についても、短大等で取得した単位から読み替え上限数（64単位）の範囲内で個別認定することも可能です。専門語学は、英語以外の言語であっても、1コマ90分×15回＝2単位で計算します。

※上記の制度は令和6年度現在のもので、単位認定の方法には（皆さんの不利にはならないような）変更が生じる可能性があります。

※スペイン語を履修している場合、基盤共通教育・専門語学の単位にはなりませんが、学部共通科目として認定が可能です（自由科目として換算されます）。

(4) 基盤共通教育（導入科目、基幹科目、教養科目、共通科目）とは？

山形大学では「基盤共通教育」の履修が義務づけられています。「基盤共通教育」は、一般教育や教養教育的な内容を持つものです。「社会に求められる豊かな人間力」という山形大学の理念の下に再構築された教育プログラムで、人間文化および社会科学系3コースは38単位以上、GSコースは40単位以上が必修です。人文社会科学部の基盤共通教育の履修の詳細は以下の通りです。

①導入科目「スタートアップセミナー」（4単位）は、必修・重複履修不可です。

②基幹科目は、「人間を考える・共生を考える」から2単位、「山形から考える」から2単位、「現代を生きる」から2単位、計6単位を修得しなければなりません。必修・重複履修不可です。

③教養科目は、以下の(a)と(b)両方を満たす16単位（GSコースは14単位）を修得しなければなりません。

(a) 1年次から履修する教養科目（「健康・スポーツ」「サイエンス・スキル」「キャリアデザイン」「情報科学（データサイエンス（基礎）を除く。）」を含む）から10単位修得しなければなりません。バランスよく履修することが望ましいので、「文化と社会」の領域から2単位以上、「自然と科学」「応用と学際」「健康・スポーツ」「サイエンス・スキル」「キャリアデザイン」「情報科学（データサイエンス（基礎）を除く。）」の6領域から2単位以上の修得が義務づけられています。

(b) 高年次教養科目 2年次以降に履修する教養科目として、人文社会科学共通科目群から、自分が所属するコース以外のコースで開講されている授業科目を、高年次教養科目として6単位修得しなければなりません。選択必修・重複不可です。

④共通科目は、以下の(a)～(c)を満たす12単位（GSコースは16単位）を修得しなければなりません。

(a) 1年次から開講する共通科目（「健康・スポーツ」「サイエンス・スキル」「キャリアデザイン」「情報科学（データサイエンス（基礎）を除く。）」は除く）は、「情報科学」2単位（「データサイエンス（基礎）」2単位）、「コミュニケーション・スキル1」4単位（「総合英語」2単位および「コミュニケーション・スキル2」2単位）、「コミュニケーション・スキル2」4単位

(ドイツ語, フランス語, ロシア語, 中国語のうちから1か国語4単位), 計10単位を修得しなければなりません。

(b) 2年次以後に開講の英語科目 (GS コースは6単位, 他のコースは2単位) を修得しなければなりません。

(c) 外国人留学生を対象として, 「コミュニケーション・スキル2 (日本語)」について, 「コミュニケーション・スキル1又は2」の単位に振り替える場合は, コミュニケーション・スキル1又は2のどちらか一方に振り替えることができます (2単位のみ振り替え不可)。

(5) ジェネリックスキル科目について

人文社会科学部全てのコースにおいて, 文系人材に求められる基礎情報技能や課題発見・課題解決に必要とされる科学的な分析や考察ができる基礎力を身につけるため, ジェネリックスキル科目 (IT, 統計, 社会調査) が専門教育科目の学部共通科目として必修となっています。具体的には, 2年次以降, 「データ処理演習」, 「統計学基礎」, 「社会調査法基礎」から2科目を選択して履修しなければなりません。このような科目 (必要な授業内容が含まれていることが条件) が現在所属の短大等にある場合, それらをジェネリックスキル科目へ読み替えることができます。

(6) 異なる専門領域に編入学する場合は要注意

編入学後, 皆さんに残された時間は2年間しかありません。卒業までにそろえるべき単位に注意してください。たとえば, 高等専門学校のような理系からの編入学や, これまで学んできた専門を大きく変えることになる場合は, 規定の年数での卒業は大きな困難を伴うことになります。本ガイドと共に配付される学生便覧をよく読み, 自分の希望する専門領域の教育コースで開講される授業科目 (特に専門導入科目と専門基礎科目) を十分に確認し, 同様の科目が所属している短大等で開講されている場合はできるだけ取っておくことをお勧めします。単位の読み替えができない場合には, たとえば1年次生向けに開講されている専門導入科目を履修するために, 3年次生向けの授業科目を履修できず, 結果的に卒業が遅れることもあります。

GS コースでは, 原則として海外研修が必修となっています。実践科目「海外研修/国内インターンシップ」4単位について, 「異文化間コミュニケーション1」「異文化間コミュニケーション2」「異文化間コミュニケーション3」又は「外国語・外国事情」の履修によってその一部または全部にあてることができます (学生便覧 p.26 参照)*。短期語学研修や留学によって短大等の単位を取得した場合は, これらの科目に読み替えることができますので, 現在所属の短大等にこのような海外研修授業科目がある場合は, 積極的に履修することをお勧めします。

社会科学系3コースでは, 所属するコースによって選択可能な演習 (ゼミ) が限定されています。出願する際には, 専門的に学びたいことを明確にしたうえで, コースの選択を行ってください。

※情勢により海外研修の実施が不可能な場合は, 指定する読み替え科目等によってこれらの単位を修得することができます。

(7) 教育職員一種免許状の取得を希望する場合

教育職員一種免許状を取得しようとする学生は, 希望する教科の「教職副専攻プログラム」に登録することになります。人文社会科学部による教育委員会への教育職員免許状申請は, 副専攻プログラム修了者 (修了証授与者) を対象として行われます。

編入学生については, 2年間での教職副専攻プログラム修了を希望する場合, 原則として, 編入学時までに教育職員二種免許状を取得していることが副専攻プログラム登録の条件となります。



第4章 編入学生からのメッセージ



山形大学人文社会科学部に編入学された3名の皆さんの体験記を紹介します。

編入学を希望される方のために書いていただきました。短大等に在学しているうちになすべきことや気を付けておくべきこと、入試対策の実践的方法、また、山形大学人文社会科学部に編入学すると出来ること（あるいは、戸惑うこと）、等々の貴重なお話が聞けます。

どうぞ参考になさってください。



編入学体験記

人文社会科学部 人文社会科学科 人間文化コース

嶋 綾香

私は、編入学前に専攻していた学問領域から別の学問領域に移動して編入学を行いました。短大で専攻していた分野の他に、かねてより詳しく学んでみたいと思っていた分野があったためです。

さて、山形大学人文社会科学部への編入学を目指すにあたって、私から皆さんにできるアドバイスがいくつかあります。

まず編入学試験を迎えるまでにすべきことについてです。試験そのものは例年通りであれば口述試験のみですが、その対策は一朝一夕にはできません。口述試験では、現在の卒論と編入後にやりたい研究（卒論）の内容を具体的に説明できるようにする必要があります。従って、現在自分が取り組んでいる卒論を進めておくこと、編入学後に取り組みたい内容を入念に調べておくことが何より重要な口述試験対策になります。私は編入学後に専攻の変更を予定していたので、短大時の卒論の情報収集と同時に、図書館などで別の分野の情報収集も行い試験に備えました。志望理由書を書く段階で既にこれができていると、非常に後が楽だと思えます。

また、私は受験対策にばかり気を取られており当時はあまり注意していなかったのですが、単位互換のできる講義を確認し、編入学前に履修しておくことも重要です。特に1年次、2年次から開講している科目をしっかりと互換できなかつた場合、後期や4年次まで3年次開講科目の履修が後ろ倒しになってしまう事もあります。

続いて編入学後の話です。恐らく、編入学にあたって最も不安なことは学習についていけるか、新たな環境に馴染めるかの二点ではないでしょうか。なんと両方を同時に解決する方法があります。先生方、在学生、他の編入生に積極的に声をかけるのです。右も左も分からない中、高年次の生活に適應する必要がある編入学生は、情報をしっかりと獲得することが非常に重要になります。勇気を振り絞って、周囲の人たちと関わりを持つように意識をすると良いと思えます。

以上の内容が山大への編入学を目指す皆さんのお力になれば幸いです。応援しています。

(山形県立米沢女子短期大学より編入)



編入学体験記

人文社会科学部 人文社会科学科 グローバル・スタディーズコース

平原 結衣

私は、専門学校在籍中に英語と中国語を学びました。また、短期語学研修も経験したことで、言語以外の異文化や習慣等に興味を持ち、更に深い学びを追求したいという思いから編入学を考え始めました。

私が志望したGSコースの試験には、外国語と面接がありました。専門学校に在籍していた際、多くの中国語の授業を履修していたので、外国語科目は中国語で受験しました。私自身は、編入学試験の前に中国へ語学研修に行き、その研修で知り合った中国人と普段からチャットで中国語のやり取りをしたり、中国語の小説を読んだりする時間を作っていました。このような日々の積み重ねが、試験当日の緊張を和らげたのだと思います。

そして、特に力を入れたことは、卒業研究を見据えた計画を志望理由と同時並行で作成したことです。単に興味の持った分野についての知識を得るだけでなく、それを活かしてどういった卒業研究を進めていくのかを考えることは、編入学においてとても重要だと思います。志望理由を決める前に、関心のあるテーマについての専門書や文献を読むことにより、面接でも自信をもって受け答えすることができたと実感しています。

また、面接練習は、学校の先生方からアドバイスを頂くことで、自分自身の弱点を様々な面から見つめ直し改善するきっかけとなりました。加えて、面接で想定外の質問を受けてもためらわず答えられるようにするため、時事問題や小論文で取り上げられている問いに対して、自分の意見を明確に述べられるように工夫をしました。対策をするにあたって、編入学を志望した軸をしっかり固め、ぶれない姿勢で臨むことがとても大切になってくると思います。

最後に、単位認定の数には限りがあり履修する授業も多くなると思いますが、今までの経験や努力は必ず今後の糧になると思います。大学では、専門性の高い授業や他者の意見を聞いて新しい発見をする機会も多くあり、現在の学校生活は充実しています。慣れない環境で困難や忙しさに直面するかもしれませんが、その厳しさを乗り越えた経験は一生の宝物になると思います。諦めずに頑張ってください。応援しています。

(神田外語学院より編入)

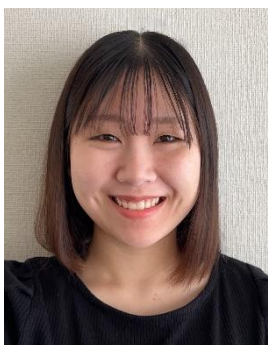
※本文中の「GSコース」は、「グローバル・スタディーズコース」を指します。



フランス語学演習の様子



異文化理解演習の一場面



編入学体験記

人文社会科学部 人文社会科学科 地域公共政策コース

草野 絢香

私は高専で卒業研究に取り組むなかで、社会学・政策学をより深く学びたいと思い、両者を学ぶにあたり環境の整っている山形大学への編入を志望しました。

山形大学の編入学試験は口述試験のみであるため、自分をアピールできる機会は志望理由書と面接だけと言えます。志望理由書はとにかく一貫性を意識し、関心のある社会問題と卒業研究の内容を結びつける、編入後に何を得てそれをどう今後の研究に活かすのか、などを字数の許すかぎり具体的に書ければ良いと思います。意味の重複や文章構成などで字数を無駄にしている可能性があるため、最低でも2人に添削してもらうのがおすすめです。また、志望理由書の内容を元に面接が行われるので、自分が書いたことはあらゆる角度から聞かれても答えられるようにしておいてください。面接対策も同様に複数人かつ専門の異なる先生に見てもらうとその耐性がつきます。当日は緊張すると思いますが、自分のこれまでの取り組みに自信を持って臨めば上手くいくと思います。

編入対策すべてにおいて言えるのは、他の併願校との兼ね合いの難しさです。私自身、山形大学でも必要な面接・専門知識と不要な TOEIC・小論文の両立には常に悩んでいました。TOEIC は編入を考えるのであれば必須と言えるので、気になる大学が求める水準を早めに満たしておくの良いと思います。小論文は基本的な型が決まっているので、物事を多角的な視点で見る力を日々鍛えておいた方が良いでしょう。新聞などから一つの記事を選び、それに対して自分の意見を論理的に文章に起こしてみることを継続的に行ってみてください。

編入後は卒業単位の取得で忙しいですが、個人的には関心のある勉強ができ充実しています。編入対策は情報の少なさから苦勞も多いですが、適度な息抜きを忘れずに後悔のないようにして欲しいと思います。応援しています。

(福島工業高等専門学校より編入)



国際法1の講義風景



消費者法務実践の様子

〔入試情報〕

■山形大学人文社会科学部ウェブサイト

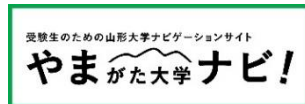
学生募集要項や過去の入試結果，受験生へのお知らせなどを掲載しています。



<https://www-hs.yamagata-u.ac.jp/estudent/examination/>

■受験生のための山形大学ナビゲーションサイト

大学概要や学部紹介動画など，受験生に役立つ情報を紹介しています。



<https://www.yamagata-u.ac.jp/enroll/>

お問合せ先

内 容	担 当 部 署	住 所	電 話 番 号
入試に関すること	小白川キャンパス事務部 入試課人文社会科学部担当	〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12	(023) 628-4207
教務に関すること	小白川キャンパス事務部 人文社会科学部事務室教務担当		(023) 628-4709
就職に関すること	エンロールメント・マネジメント部 学生支援課キャリア支援担当		(023) 628-4134

発行年月：2024年7月

編 集：山形大学小白川キャンパス事務部
入試課人文社会科学部担当